枚方工場 2018年度 環境データ

環境パフォーマンス

（絶対量）

項　目	単　位	2017年度	2018年度
エネルギー	kL/年（原油換算）	3,973	4,170
CO_2	t-CO_2/年	7,862	8,567
水	m^3/年	32,389	35,023
産業廃棄物排出量	kg/年	58,174	41,153
排水量（排水処理施設）	m^3/年	17,381	17,771

大気関係

項　目	施設名	法・公的規制	自主管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
ばいじん（g/Nm^3）	ガス吸収式冷温水器 AR-1	0.05	0.02	―	―	1回/5年
NOx※（ppm）	ガス吸収式冷温水器 AR-1	150	41.0	29.5	34.0	2回/年

※NOx：窒素酸化物

水質関係

項　目	単　位	法・公的規制	自主管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
水素イオン濃度（pH）	mg/L	5.8～8.6	6.2～8.2	7.6	7.8	1回/月
生物化学的酸素要求量（BOD）	mg/L	35	10	3.0	4.8	1回/月
化学的酸素要求量（COD）	mg/L	35	10	6.3	9.0	1回/月
浮遊物質量（SS）	mg/L	70	5	2.7	4.0	1回/月
ノルマルヘキサン抽出物質量	mg/L	4	1	1	1	1回/月
大腸菌群数	個/cm^3	3,000	6	0.2	2	1回/月

悪臭関係
基準値の超過はありません

騒音・振動関係
基準値の超過はありません

粉塵関係
基準値の超過はありません

大気関係 排出総負荷量

（単位：トン）

項　目	排出総負荷量	
	2017年度	2018年度
NOx	0.25	0.23
SOx※	―	―

※SOx：硫黄酸化物

水質関係 排出総負荷量

（単位：トン）

項　目	排出総負荷量	
	2017年度	2018年度
化学的酸素要求量（COD）	0.11	0.11
生物化学的酸素要求量（BOD）	0.06	0.06

PRTR対象物質

（単位：トン）

物質番号	対象物質	取扱量	排出量			移動量		その他の量		
			大気排出	水域排出	土壌排出	廃棄物	下水道	リサイクル	消　費	除去処理
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびその塩	1.386	0	0	0	0.001	0	0	1.385	0
31	アンチモンおよびその化合物	1.340	0	0	0	0	0	0	1.340	0
報告対象物質合計		2.726	0	0	0	0.001	0	0	2.725	0

環境保全効果

効果内容	投資金額（千円/年）	効果金額（千円/年）	効果量
エネルギー削減	2,080	2,118	32 kL/年（原油換算）
廃棄物削減		175	4,075 kg/年
水削減		0	0
その他		84	―
合　計	2,080	2,377	

KYOCERA

www.kyoceradocumentsolutions.co.jp

Hirakata Plant Sustainability Report 2019

京セラドキュメントソリューションズ 枚方工場サステナビリティーレポート

住　　所：大阪府枚方市津田北町1-38-12
事 業 内 容：複合機・プリンター（米国政府調達機器）、モノクロトナー、感光体ドラムの製造、商品およびパーツの保管と配送
敷地総面積：46,017m^2　建築延床面積：58,978m^2
緑　化　率：18.4%
従 業 員 数：213名（2019年 3月末現在）

工場長あいさつ

枚方工場は、大阪・京都・奈良の三都市から程近く、近隣には穂谷川、探鳥地として有名な山田池や「モニタリングサイト1000※1」、「日本の里100選※2」、の一つに選定された「穂谷地区の里山」があります。そして、その自然豊かな近隣には、関西文化学術研究都市の一画を占める学術研究地区があり、まさに自然と人と社会が共生する調和に満ちた絶好の環境と言えます。当工場は、枚方津田のこの地に設立以来50余年になります。これもひとえに近隣をはじめ社会の皆さまのご支援のおかげと深く感謝し、今後も引き続き、より積極的に自然環境の保護に貢献できるよう、そして、安全・安心を最優先にして、事業活動に取り組んでまいります。

※1：環境省による里地調査の重点調査地域　※2：朝日新聞社・（財）森林文化協会による選定

工場長　広部 潤一

2018年度 環境目標と実績

環境目的	項　目	2018年度目標	2018年度実績	結　果	コメント
低炭素社会への貢献	温室効果ガス排出量原単位の削減 [kg-CO_2/加重平均指標] 原単位分母：加重平均	2017年度比 1.5%削減	2017年度比 **1.49%削減**	未達成	猛暑による空調使用の増加、休日出勤による増加により未達成
	エネルギー使用量（原油換算量） 原単位の削減[kL/加重平均指標] 原単位分母：加重平均	2017年度比 1.5%削減	2017年度比 **1.49%削減**	未達成	猛暑による空調使用の増加、休日出勤による増加により未達成
循環型社会への貢献	産業廃棄物排出量原単位の削減 [kg/加重平均指標] 原単位分母：加重平均	2017年度比 1.0%削減	2017年度比 **1.3%削減**	達成	廃棄物のさらなる有価化により、産廃排出量を削減
	水使用量原単位の削減 [m^3/加重平均指標] 原単位分母：加重平均	2017年度比 1.0%削減	2017年度比 **0.9%削減**	未達成	猛暑による設備冷却水の増加および散水量増加により未達成

地域社会とともに

アドプト・ロード&リバーを実施

当工場は、大阪府が主催する「アドプト・ロード&リバー・プログラム」に2004年から参加しています。
アドプト・ロードでは毎月1回、JR藤阪駅から当工場正門前までの歩道を清掃し、アドプト・リバーでは、3カ月に1回、穂谷川左岸の遊歩道の清掃活動をそれぞれ実施しています。2018年度は、のべ108名の社員が参加しました。

アドプト・ロード

枚方市立津田小学校で理科出前授業を実施

当工場近隣の枚方市立津田小学校6年生の3クラス106名を対象に「理科出前授業」を実施しました。
授業内容は、静電気を利用してコピーができる仕組みを理解する講義、および児童が自分で描いた原稿を手作業でコピーする実験で構成されています。少しでも自分の原稿をうまく写せるように何度も実験を繰り返し行う児童もおり、実験の楽しさと電気エネルギーが他のエネルギーに変換されて活用されることを実感していただきました。

津田小学校での理科出前授業

中学生職場体験学習を実施

仕事の現場を体験する中学生の職場体験学習を実施しました。当工場では社会貢献活動の一環として毎年生徒の受け入れを行っており、2018年度は津田中学校・長尾中学校から合計8名の中学生を受け入れました。この職場体験学習は、当工場内での現場作業を中学生が実体験することで、働くことの意義や仕事に対する理解を深めてもらうことを目的としており、2018年度は、感光体ドラムの部品や製品の品質検査などを体験してもらいました。ある生徒からは、「考えて工夫することも仕事ということを学び、普段できない貴重な体験をさせていただきました。学んだことを生かして勉強を頑張っていきます。」との感想をいただきました。

製品の品質検査の実習

中学生に向けて職業講話を実施

当工場が所在する大阪府枚方市では、市内の中学校を対象に「キャリア教育」と題して、中学生に職業や働くことについて考えるきっかけづくりをするため、1年生には職業講話、2年生には職場体験学習、3年生は進路指導といったプログラムを推進しています。その一環として、枚方市より当社に市内の製造業を代表する企業として職業講話の依頼があり、1月23日に枚方市立長尾中学校1年生を対象に実施しました。
講話のあとの時間では、生徒たちから「この職業に就いて良かったことや難しかったことは何ですか?」、「どこに仕事のやりがいを感じますか?」などの質問も寄せられ、意識の高さを感じることができました。

教室での講話

夏祭りを開催

近隣住民の皆さま、来賓の皆さま、社員の家族、約2,000名の方々に来場いただきました。
例年参加いただいている府立枚方津田高校吹奏楽部の皆さまの演奏や抽選会に加え、関西外国語大学アカペラサークルの皆さまが素晴らしい歌声を披露するなど、ステージは大変盛り上がりました。模擬店も、長蛇の列となり賑わいました。

来場者で賑わう会場

社員とともに

労働安全衛生の取り組み

当工場は、安全な職場づくりを最重要課題として取り組んでいます。
現在、「無災害継続記録4,651日継続中（2019年3月31日時点）」であり、今後も緊張感を持って取り組むことにより、「無災害継続記録6,100日（無災害記録　第3類）」を目指しています。
各部門では毎月１回職場パトロールを行い、安全衛生面での指摘事項を挙げ、是正処置を実施しています。また、グループ内で発生した労働災害に対して水平展開を行い、労働災害を未然に防ぐ取り組みを推進しています。
また、2018年6月には、外部講師を招いてフォークリフトの安全運転講習会を行い、事故事例と順守事項、始業前点検、模擬運転など、フォークリフトにおける安全作業のあり方を再認識し、初心に立ち返って「安全第一」の作業を行っています。

無災害記録証 第四類

健康経営実現の取り組み

当工場は、2018年4月1日に「ひらかた健康優良企業※」に登録し、「禁煙セミナー」や「食生活改善セミナー」、「肩こり・腰痛改善プログラム」などを積極的に実施しています。社員への健康投資を行い、健康経営を実現することは、社員の活力向上や生産性向上など組織全体の活性化をもたらすとともに、企業の業績向上やイメージアップにつながると期待されています。

※枚方市が主催する、従業員の健康づくりに取り組む企業を募集し応援する制度

枚方市保健所の保健師による禁煙セミナー

防災への取り組み

当工場は、南海トラフ巨大地震発生予想地域における防災対策推進地域にも指定されています。このため防災対策には以前から取り組んでおり、有事における被害を最小限にとどめるために、自衛消防隊を主体に防災活動および訓練を定期的に実施しています。防火防災訓練では、緊急地震時における初動訓練や避難訓練・初期消火訓練、レスキューキットを用いた救出訓練や、けが人発生時の救護訓練なども実施しています。
その他の取り組みとして、枚方寝屋川消防本部から講師の方を招き、屋外消火栓を使用した消火訓練、救護訓練、AEDによる救命など、より具体的な訓練を実施しました。2018年には起震車を使用した震度7の地震体験訓練を実施するなど、実際の災害に対応できる体制を目指しています。

屋外消火栓訓練

構内通路での安全確保の取り組み

構内屋外通路における歩行者と車両の通行帯を色で区別することにより「グリーンベルト」として歩行者優先レーンを確保するための取り組みを行いました。これにより、社員はもちろん、外部入場者においても通行区分が明確となりました。
また輸送用大型トラックの待機場所を確保するために道路拡張工事を実施し、構内通行の安全確保に大きく寄与することができました。

拡張前の道路

拡張後の道路